

別表(1)―1・A (第14条) 社会福祉学専攻 博士前期課程 授業科目

授業科目名		単位	授業を行う年次	必修選択の別	備考
共通科目	社会福祉学特論	2	1	必修	
	社会福祉研究方法特論Ⅰ	2	1	必修	
	社会福祉研究倫理特論	2	1	必修	
	社会福祉研究英語特論	2	1・2	選択	
専修科目	福祉医療政策特論	2	1・2	選択	
	福祉経営学特論	2	1・2	選択	
	ソーシャルワーク特論	2	1・2	選択	
	スーパービジョン特論	2	2	選択	
	保育学特論	2	1・2	選択	
	臨床発達心理学特論	2	1・2	選択	
	発達臨床の理論と実践特論	2	2	選択	
	仏教社会福祉特論	2	2	選択	
	国際社会福祉特論	2	2	選択	
	障害児・者福祉特論	2	1・2	選択	
	社会福祉研究方法特論Ⅱ	2	1・2	選択	
	法津学特論	2	1・2	選択	
	地域共生福祉特論	2	2	選択	
	子ども家庭福祉特論	2	1・2	選択	
科目実践	低所得者福祉特論	2	2	選択	
	高齢者福祉特論	2	2	選択	
	保健医療福祉特論	2	2	選択	
	福祉・医療臨床実践学	2	2	選択	
	子育て・保育相談支援実践学	2	1・2	選択	
科目研究	ソーシャルワーク実践学	2	2	選択	
	療育実践実習Ⅰ	2	1	選択	
	療育実践実習Ⅱ	2	1	選択	
	療育実践実習Ⅲ	2	2	選択	
	療育実践実習Ⅳ	2	2	選択	
科目研究	社会福祉特別研究指導	8	1・2	必修	

1. 履修方法及び修了要件は、体系的に教育の課程を履修し、修了に必要となる単位として、共通科目の必修6単位と、研究指導8単位を含む32単位以上を修得するとともに、所定の研究指導を受けて、修士論文を提出の後、論文審査及び口頭試問による修了試験に合格することによって、「修士(社会福祉学)」を授与する。

2. 他の研究科を含め、他の専攻の博士前期(修士)課程に配置されている科目については、8単位まで課程修了の単位数として算入することができる。